

(3) カーボンニュートラル (Carbon Neutral)

人間の活動によって排出される温室効果ガス（主にCO₂）を吸収・除去することで、実質ゼロにすることを意味します。つまり「排出する量」と「吸収・除去する量」が差し引きゼロになる状態です。カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化をする必要があります。

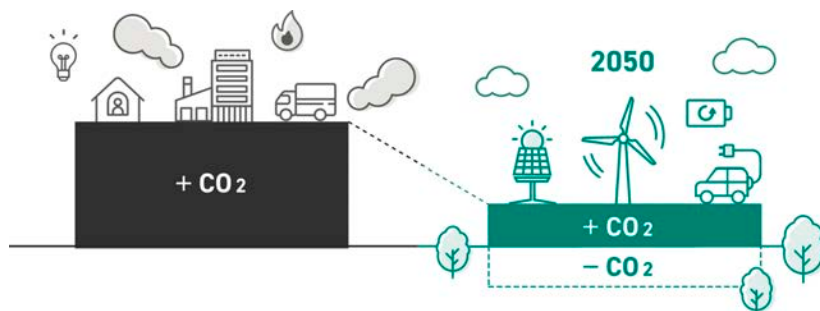


図2 カーボンニュートラルの概念図
(環境省_脱炭素ポータルHPより引用)

(4) 2050年カーボンニュートラル宣言

当時の内閣総理大臣は2020年10月26日の所信表明演説において、我が国が2050年までにカーボンニュートラル（温室効果ガス排出を実質ゼロ）を目指すことを宣言しました。加えて、2021年4月には、地球温暖化対策推進本部及び米国主催の気候サミットにおいて、「2050年目標と整合的で、野心的な目標として、2030年度に、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指します。さらに、50%の高みに向けて、挑戦を続けていく」ことを表明しました。これは、地球温暖化対策としての大きな転換点であり、環境と経済の両立を目指す国家戦略となっています。

(5) 脱炭素社会

二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスの排出を限りなくゼロに近づけた社会のことです。これは、地球温暖化を防ぐために、エネルギーの使い方や産業の仕組み、ライフスタイルを根本的に見直すことを意味します。

(6) ゼロエミッション (Zero Emission)

温室効果ガス（GHG）や大気汚染物質などの排出をゼロにすることを目指す考え方や取り